



はが質問 農業・畜産・酪農を守れ！

「水田活用の直接支払交付金」の条件が厳しくなり「5年に1度水張り(稲作)」が必要。多くの農家が心配している。周知も足りていない！(4/17 決算委)

野村農水大臣(当時)答弁 何回も説明した。周知に努めたい。



「畑地化促進事業」の補助金は希望者が申請断念させられる例も。減額申請を求められる例も。補正予算で遅れて交付の例も。「出る出るサギ」ではないか！(5/22)

飼料代・燃料代の高騰で酪農・畜産の皆さんが危機的状況。飼料代補助を拡大すべき！(4/17 決算委)

畜産・酪農「単味飼料」の補助が全国でスタート！

はが質問 政府の少子化対策はあまりにも遅い！子育て・教育も都会にいる人だけがトクをする

東京都 出産・子育て・教育の経済支援

- 妊娠期 5万円相当 出産応援ギフト
 - 出産 10万円相当 子育て応援ギフト
 - 0-2歳 第二子保育料無償化(所得制限なし)
 - 0-18歳 1人に毎月5000円(所得制限なし)
 - 高校生 医療費無償化(23区内所得制限なし)
- さらに2024年度より
- 高校生 授業料実質無償化(所得制限なし)
 - 小中学生 給食費補助

国が少子化対策に力を入れないので、東京などの都会に住む人が得をする政策だけが更に進むことになってしまった。「地方」に住む人々は本当に心配している。(12/8 予算委員会)



岸田総理答弁 若い世帯の所得を増やしていく、そして社会の意識や構造を変えていく、そしてあわせて、子供たちの成長に合わせて切れ目なく対策を用意する、この3つを掲げている。これは地方においても大変重要な課題であると認識している。

鶴岡市西目の土砂災害 復旧へ

おとしの年末に起きた「鶴岡土砂災害」の避難指示解除。吉村知事・皆川市長の努力もあり12/30には最後の1家族もご帰宅。新年をご自宅で迎えることができました。(写真は昨年11/28 芳賀議員視察時)



少子化対策に必要なのは、給料を上げ、税負担を下げ、社会保険料の負担を下げ、給付、控除、無償化など、公的支援を拡充すること。高校生のいる世帯の扶養控除の縮小も撤回の上、年少扶養控除を復活させてほしい。そうして、ようやく我が国は少子化対策のスタートラインに立つことができる。(12/8 予算委)

山形県 参議院議員
はが道也

【国会事務所】
〒100-8962
東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館 917号
TEL 03-6550-0917
FAX 03-6551-0917

【山形事務所】
〒990-0825
山形県山形市城北町1-24-15
ダイヤ66城北 2・A
TEL 023-676-5115
FAX 023-676-5116

【庄内事務所】
〒998-0011
山形県酒田市上安町2-20-34
TEL 090-8252-7140



はが道也事務所 公式サイト <https://www.hagamichiya.com>

X (旧Twitter) Facebook

山形県 参議院議員 はが道也後援会(会報誌)

はがみちや タイムズ Haga Michiya Times

発行元：はが道也事務所 〒990-0825 山形県山形市城北町1丁目24-15 ダイヤ66 城北2F・A TEL 023-676-5115 FAX 023-676-5116

2024 年
第1号
Vol.28



1/10(水) 震災を受け、参議院 災害対策特別委員会 理事懇談会 開催

能登半島地震と航空機事故でお亡くなりになった方のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

命と暮らしを守ることの大切さを改めて強く感じる年明けとなりました。災害・戦争・気候変動、世界中が危機にある中、考え方の違いを乗り越えて、みんなが協力し、被災地とも本気で繋がり復興を目指し、命を守るより良い社会を実現しましょう。

災害対策特別委員会などでの審議も通じて私も能登半島など被災地の震災復旧を応援して参ります。山形県からもぜひ被災地を全力で支えていきましょう。

1月10日、参議院・災害対策委では、避難所の環境改善、身一つで避難された皆さんが医療保険料も税も無料となるよう要望。また地震後すぐ、「東日本大震災」の経験をもとに山形の方からいち早く提案を受けた「県境を越えたホテルなどへの二次避難」が、実現したこと、お礼を申し上げます。

2023 年からの主な活動をまとめました。ご覧ください。



災害対策特別委理事懇

昨年の国会質問 NHK 中継に始まり、NHK 中継に終わる

昨年1月質問 燃料代・電気代高騰、物価高のいま「増税」なのか！

長引く新型コロナと物価高騰で命と暮らしが危機にある。「増税はしない」と約束してほしい

通常国会冒頭の1月24日、参議院本会議にて岸田総理に質問。NHK 中継され「報道ステーション」などニュース番組でも取り上げられ、翌日の山形新聞・朝日新聞などでも記事になりました。岸田総理は遠回しな表現で「増税を実施する」と答弁。

大企業だけでなく中小企業でも賃上げの必要がある。肥料・飼料・燃料の高騰になやむ農家にも収益アップが必要！

「あらゆる政策を駆使して」と言うが、具体策なし

「中小企業には各種補助金で生産性向上をはかり、下請取引の適正化、価格転嫁を促進」と答弁 (※これまでと同じ答弁の繰り返し)



岸田総理
答弁
1/24

12月質問 ガソリン軽油の高騰対策 補助金より減税を！

ガソリンや軽油の高騰対策として元売企業に補助金を続けると、元売企業から自民党・派閥・各議員への献金・パーティー券購入で「キックバック」されるおそれがある

昨年12月、参議院予算委員会にて岸田総理に質問。NHK 中継され、その日のテレビニュースでも取り上げられました。岸田総理はガソリン税・軽油引取税の減税について「与党と国民民主党で協議をしたい」と答弁。



はが質問 厚生労働委員会にて医療介護福祉・医薬品問題を指摘

医療・介護・福祉の診療報酬アップが必要

電気代、燃料代を始め猛烈な物価高騰で、公的に定められた収入しかない医療、介護、福祉の施設では「事業が続けられない」「赤字で賃上げも満足にできない」「今年赤字なら銀行管理になる」など危機的な声が寄せられている！ (11/16 厚労委)



武見敬三
厚生労働
大臣が答弁



物価高騰、他の産業と比較して格差のある賃上げの必要性、いずれも喫緊の課題だと認識している。総合経済対策でも柱として組み込み、補正予算にも盛り込む。

結果 ▶ 2024 年度改定 診療報酬 + 0.88%
介護報酬 + 1.59% 障がい福祉 + 1.12%

はが指摘 余りにも低い！ 待遇改善不可能！

はが質問 マイナンバーカード保険証問題を指摘



国民が安心を感じないうちにマイナンバー保険証を義務化して今の保険証を廃止するべきではない。マイナンバーを一度止めて精査すべき！ (地方デジタル特委)

河野デジタル大臣(当時) 答弁 マイナンバーによるデジタル化は国民の利便に資する。国民に安心して頂けるように対策を周知・広報したい。



芳賀の指摘を受けて ▶ 5/23 からすべての保険者・実施機関でデータ全体のチェックを実施

LPG 車改造 規制緩和実現 OEM 車同じと認める

ガソリン価格高騰を受けて、LPG 車に改造する例が増えているようですが、改造後の排ガス試験など検査の費用が重い現状。4/17 決算委員会にて斉藤国交大臣に OEM 車の検査の緩和を要望。11/7 に省令改正で緩和されました。

(右 2023/11/20 東京交通新聞 掲載許可済)



コロナ禍以降 4 年弱の間クスリが足りない

いまだに医薬品・医療材料が不足。日本で何年もの間、次々に薬などが不足する状況でいいのか？ (11/16 厚労委)



武見敬三
厚生労働
大臣が答弁



去たん薬等が不足という事態のときに「最も喫緊の課題であるから即時対応をしろ」と指示を出した。そもそも後発医薬品の産業は、少量多品目生産という構造的な問題がある。後発医薬品メーカーの薬機法違反をきっかけとした供給量低下も非常に難しい問題。

薬価の下げ過ぎが原因。毎年改定の廃止を！

自動車整備工場「事故車修理工賃」引上げ実現

自動車保険を使って事故車を修理する場合に、保険会社から払われる工賃の基準が安い問題があります。2022 年 8 月に同じ会派の浜口誠議員と共に、国交省・金融庁にリモート会議で要望。2023 年 3 月に保険各社が共同で工賃引上げを決定。さらなる引き上げを要望。



はが質問 米坂線復旧を！ はじめて保険をかけていたことを認める



2022 年 8 月豪雨による米坂線の被害(飯豊町)



JR 米坂線の復旧に向けてさらに御尽力をお願いしたい。(4/17 決算委)

斉藤国交大臣答弁 まずは復旧の方向で検討するべきものと考えており、現在 JR 東日本においてもその方向で復旧費用の算定を行っているところと承知しております。

約 86 億円と見積もられる米坂線の復旧費用のうち保険でカバーできる部分はあるか？ 保険から払われる金額はいくらか。(11/17 災害対策特別委)

国交省 岸谷審議官答弁 JR 東日本からは、鉄道施設の損害に関し、保険会社と契約をしていると聞いている。現時点では保険会社に対して保険金の請求をしていないと聞いている。



JR 東日本 4/25 発表 米坂線
復旧費用 約 86 億円
復旧にかかる工期 約 5 年間



米沢駅から羽前椿駅まで線路がつながっているが、現在は米沢駅から今泉駅までの折り返し運転。地元では飯豊町の羽前椿駅までの運転してほしいと強い要望がある。(11/17 災害対策特委)

国交省 岸谷審議官答弁 信号システムを制御する運転保安設備が必要だが、この設備が今泉駅から坂町駅間で被災しているため、今泉駅から羽前椿駅間の運転再開は困難と聞いている。

はが JR 東日本に要望 信号システムとケーブルをつなげば今泉駅・羽前椿駅間の運行再開は可能！ 信号システムの復旧と運行再開を要望。

JR 東日本回答 保険で入る金額、今は分からない。只見線についても受け取った保険金額は公表していない(?)今泉駅・羽前椿駅間の信号システムを直すには、坂町駅～今泉駅の全面復旧の必要がある(??)。完全復旧をする他なく、羽前椿駅までだけの信号システム等の部分復旧は難しいと回答。(内部の方からは「やればできる」という指摘も!?)

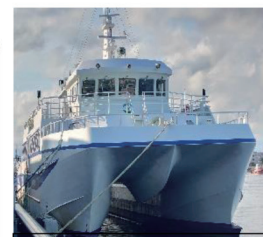
昨年 4 月 はが要望 飛島の定期航路の運賃に国の補助実現へ！



離島振興のため国交省で飛島の定期航路運賃の補助をし
てもらえないか (4/17 決算委員会)

斉藤国交大臣答弁 飛島は「離島振興対策実施地域」に指定され、離島振興法に基づき、公共事業の国庫補助率のかさ上げや交付金等による支援を実施。航路の運賃補助については、事業者・地方自治体・国で構成する協議会において協議が整えば離島航路補助のメニューである「離島住民運賃割引補助」の制度活用が可能。

さらに有利な支援が受けられる「特定離島」の認定も要望！ 超党派の議員立法で実現を目指します



飛島と酒田港を結ぶ定期船「とびしま」